

## L P ガス C P 情報(2012年10月積み)

## 1. 10月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 1,025<sup>ドル</sup> (前月比 +55<sup>ドル</sup>)  
 ブタン 965<sup>ドル</sup> (前月比 +35<sup>ドル</sup>)

## ① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、中東情勢の緊迫化による地政学リスク等を受けた原油高を背景に、LPガススポット市況は需要期に向けた在庫積み増しへの需給双方の思惑が交錯し、大幅続騰となった。

第2週に1,000<sup>ドル</sup>を突破したCP先物市況はプロパンが第3週も続騰、先安感から第4週は反落したものの、追加のスポット供給は少なく、低在庫の日本をにらみ直近でサウジが10月上旬積みFOBスポット玉をプロパン1,020<sup>ドル</sup>、ブタン960<sup>ドル</sup>で販売、10月CPの続騰が決した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン5ポイント、ブタン3ポイントの上昇。前年同月比ではプロパン28ポイント、ブタン13ポイントのそれぞれ上昇となった。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	72.7	65.8	65.5	64.9	67.2
CP先物指標：P	930	1021	1070	990	1003
CP先物指標：B	934	1025	960	905	956

## ② 原油市況等

原油市況をみると、9月のWTIは95<sup>ドル</sup>、ドバイ111<sup>ドル</sup>台でスタート、イランやシリア情勢悪化による地政学的リスクが高まるなか、FRBのQE3(量的緩和第3弾)を受け株高とともにWTIは99<sup>ドル</sup>まで上昇した。一方、米国原油在庫は高水準で需要も減退しており、中国の景気減速、欧州債務問題等から下旬には高値調整局面となった。なお、WTIの大口投機玉ネット買い越しは中旬に26万7千枚まで膨れ上がったが、調整局面では売り玉が増え23万に減少した。

○9月積みアラビアンライト(9月1~28日まで)は112.51<sup>ドル</sup>(前月比+1.72<sup>ドル</sup>)  
 熱量等価AL100% プロパン922.48<sup>ドル/トン</sup> ブタン909.83<sup>ドル/トン</sup>  
 AL比 プロパン111.11% ブタン106.06%

## 2. 2012年11月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日	79.10	81,078	76,332	+3,900	+2,300
21~20日	78.91	80,900	76,100	+3,800	+2,200
26~25日	78.75	80,700	76,000	+3,700	+2,200
1~30日	79.17	78,200	74,600	+11,300	+8,700

\*TTS平均は10月1日まで、1~30日分はコスモ10月仕切に適用  
 コスモは前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。

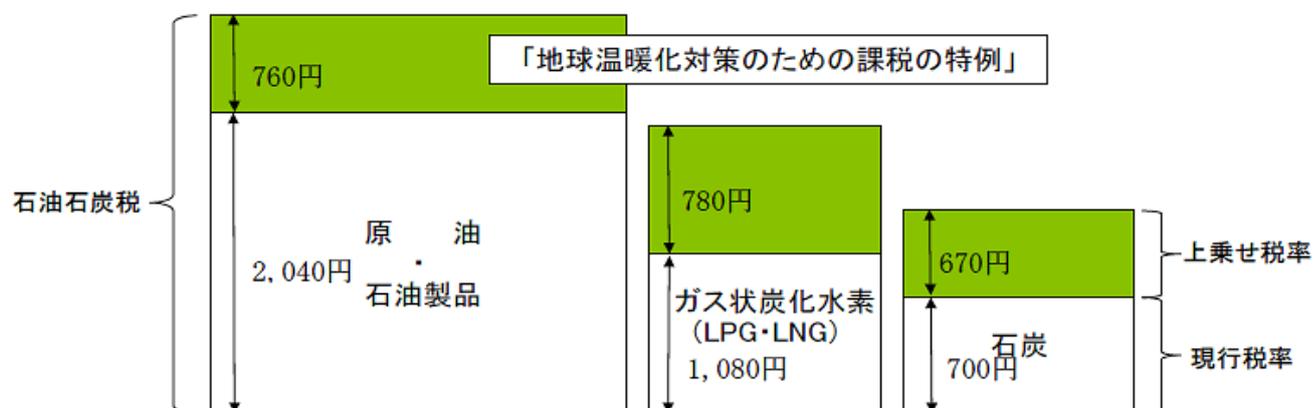
\*10月仕切では石油石炭税の増税分260<sup>円/トン</sup>が加算されます。詳細は、次ページ及び仕切表をご参照ください。

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。

## 「地球温暖化対策のための税」について(24年度改正)

- 石油石炭税に、「地球温暖化対策のための課税の特例」を設け、CO2排出量に応じた税率を上乗せする。
- 平成24年10月1日から実施し、税率は段階的に引き上げることとする。
- 増収見込額 初年度 約391億円 平年度 約2,623億円

### ○税率



### ○段階的实施

課税物件	現行税率	平成24年	平成26年	平成28年
		10月1日～	4月1日～	4月1日～
原油・石油製品 [1キロリットル当たり]	(2,040円)	+250円 (2,290円)	+250円 (2,540円)	+260円 (2,800円)
ガス状炭化水素 [1トン当たり]	(1,080円)	+260円 (1,340円)	+260円 (1,600円)	+260円 (1,860円)
石炭 [1トン当たり]	(700円)	+220円 (920円)	+220円 (1,140円)	+230円 (1,370円)

※( )は石油石炭税の税率。